

## 設問①

【市町村】

- \* 震災から2週間後。
- \* 避難所近くの駐車場に置いた車の中で生活を続けていた知的障害を持った子どもがいる家族（両親＋11歳の子どもの3人家族）が、「福祉避難所に入らなければならないほどの障害でもないのに車中避難で頑張ってきたんですけども、さすがにシンドくなってきました。今さらなんですけど避難所に入れてもらうことはできませんか？」と問合せがあった。
- \* 子どもは知的障害を持っており、「集団生活（避難生活）では周りに迷惑をかけてしまうかもしれない」と両親は心配しているよう。具体的には、「突然大きな声を出してしまう」「落ち着きがなく、いろいろとちょっかいを出してしまう」などだそうです。
- \* 避難所リーダーたちは「やはり専門家がいるわけではないし、何とか福祉避難所に入ってもらうようにした方が良い」という意見と、「その程度の障害なら避難所内で対応できるのではないかな。受け入れてもいいのではないかな」という意見に分かれているようです。
- \* あなたなら、どちらの意見に賛同しますか？

A	断る（何とか福祉避難所へ） 専門家が近くにいる福祉避難所へ行ってもらった方が良い		名
B	受け入れる（避難所内の方に協力してもらう） 避難所内の方々に協力をしてもらいながら避難所で受け入れる方向で考えたい		名

## 設問②

【市町村】

- \* 震災から1か月。避難所となっている小学校へ足を運んだあなたは、ぽつんと一人でいる高齢者に目がとまりました。
- \* あなたはその中の一人の男性近づきました。すると、男性の体から異臭がします。何日もお風呂に入っていないのではないかと思われました。
- \* あなたは思い切って声をかけました。「自衛隊が仮設風呂を設置してくれたようですよ。もう利用されましたか？」
- \* 男性はこう言います。
- \* 「したくてもできないんだよ。俺は一人暮らしの上、こんな足じゃ、風呂のあるところにも一人でいけないし。噂だと浴槽がとても深いそうじゃないか。俺の足ではまたげんだろうからなあ。もう1か月風呂には入っとらんよ。あきらめとる。でも、ここにいれば知っている人の顔も見れるから安心だよ。飯ももらってありがたいよ。」
- \* 男性の靴下はドロドロで、尿の漏れたようなにおいもしています。男性の言うとおりに、あきらめるしかないんだろうか…。そう考えていた時、行政が福祉避難所を開設していることを知りました。
- \* あなたなら、どのように対処しますか？

A	<p><b>福祉避難所に行ってもら</b>                      男性は遠くまで歩けず、衛生状況も悪い。介護が受けられる福祉避難所に行った方がよい。</p>		名
B	<p><b>避難所にとどまってもら</b>                      避難所内の方々やボランティアに協力を得ながら、ここでの生活を継続できるような方法を考える。</p>		名

### 設問③

【市町村】

- \* 震災から2か月。
- \* 沿岸部では、災害ボランティアセンターに、家屋の片付けなどの依頼が出てくるようになりました。依頼件数が多く、ボランティア人数が足りない状況が続いています。
- \* そんな状況の中、沿岸部の港湾近くにある民間企業から、災害ボランティアセンターに「会社で利用している冷凍施設の掃除、片付けをしてほしい」と連絡がありました。
- \* これまで個人の住宅からの作業依頼はありましたが、企業からの依頼ははじめてです。
- \* 依頼者は、「漁港では、再開に向けて着々と準備が進めている。冷凍施設の片付けが終わったら、設備の修理をして、仕事もできるところから再開したいと思っている。従業員も手伝うから、なんとかボランティアの力を貸してもらえないだろうか。これで社員の雇用も守ることにもつながる」と、熱心に協力を求めてきました。
- \* 「営利活動に関連するので断る」という意見と「家屋と同じように対応する」という意見に分かれています。
- \* さて、あなたなら、このようなニーズにどのように対応しますか？

A	<b>営利活動の関連するので断る</b> 一部の営利活動を支援することになる。ほかの事業者からの依頼も引き受けなければならなくなる。		名
B	<b>家屋と同じように対応する</b> 意欲のある企業なので応援する。ほかの依頼が出てきたら状況にあわせて対応する。		名